

① ワークショップ形式の授業検討会

ア 特徴

少人数による主体的な作業や協議を通して、授業者と参観者が一体となり、授業改善を具体化していく検討会

イ 事前準備

- カード型付せん紙を準備し、授業でとらえた児童生徒の学びの姿を記入しておく。(記録用紙から転記してもよい) 授業のねらい、手だて、教師の児童生徒とのかかわりに関する児童生徒の学びの姿を中心に記録する。1枚の付せん紙に、学びの姿を一つ具体的に記入する。その際、プラス面とマイナス面が偏らないように留意する。
- 記入内容は、児童生徒の発言、発表、表情、つぶやき、記述、作業等の姿であり、参観者の意見や推測は記入しない。～授業中に起きた事実のみの記入～

<カード記入例> ※簡潔にサインペンで書くこと

太郎が「なにをしていいかわからない」と、つぶやく。

順番を表す言葉「まず」に印を付けていた。(花子)

中心発問に未記入で班活動に入った。(次郎)

○台紙はそのままでの模造紙、または本時指導過程を模造紙大に拡大したものを使用。

○参加者を6人程度のグループに分け、司会を決めておく。(複数グループの場合)

ウ 検討会の過程 <約90分の時間設定>


	主な項目と時間	形態	内容・留意点
導 入	1 オリエンテーション<3分>	全体	1 司会者が協議の視点(ねらい・手だて・児童生徒とのかかわり)グループ協議の在り方、時間配分を確認する。
	2 授業者からの説明 <5分>	全体	2 授業者が、児童生徒への思いや願い、本時のねらい、手だての工夫(提案)等を語る。
展 開	3 自己紹介 <2分>	グループ	3 雰囲気や和らげるために、自己紹介を行う。例えば、好きな食べ物・血液型・星座等から一つ名前に加える。
	4 作業 <15～20分> ◇KJ法を活用し、授業のよさや課題を具体的に表出させる。 【Q1】「KJ法」って何? カードを集めれば、いいの?	グループ	4 KJ法を活用した作業 ① カード貼付 記入済のカード型付せん紙を、拡大した「本時の指導過程」に、一言述べながら、持ち札すべてを貼付する。(一人5枚程度、一言は10秒以内)



太郎君がグループでも全体でも「○○○○」と答えていた。(6秒)

② 島分けと表札

親しいカードを集め、島分けをし、表札(タイトル)を付ける。孤立したカードも大切にする。

	<p style="text-align: center;">【Q2】：授業者と助言者の動きは？</p> <p>5 協議 <30～35分> ◇授業の成果と課題について ◇成果と改善策の短冊化</p>	グループ	<p>③ 協議内容の焦点化 グループ司会は、表札(タイトル)と本時のねらいや手だてを関連付け、協議内容を、二つ程度に焦点化する。</p> <p>5 成果と授業改善策を短冊に記入する。(グループ数を踏まえ、記入する短冊数を決める。)</p>
まとめ	<p>6 全体協議 <15分> ◇各グループから成果と改善策の発表(カードの活用) ◇授業者の補足説明 ◇具体的な改善策についての意見交換</p> <p>7 指導助言 <10分></p> <p>8 授業者等によるまとめ <5分></p>	全体 全体 全体	 <p>7 授業者の思いを踏まえ、授業改善が見える助言とする。</p> <p>8 今後の授業づくりに対する思いや次の授業者に対する期待等を語る。</p>

エ その他

「児童生徒の学びの姿」の対象児童生徒は、KJ法の活用という視点から、原則として限定しない。ただし、校内研究のねらいや意図によっては、その限りではない。

<Q&A>

【Q1】：「KJ法」って何？

{A1}：そのポイントを解説すると……

- ① **カード作り**：1枚に1事項
～具体的にありのままに記入～
～仮定や想像は排除～
～多種多様に豊かに出すこと～
- ② **カードのグループ編成** (島分け)
ア すべてのカードを広げ、一つ一つ目でなめまわす。
イ 親しいと感じるカードを集める。
～理屈より感じる能力を～
○小分けから、大分けへ進むこと。(2枚ペアからまとめる)
○自分または特定の概念に当てはめ分類しないこと。(集めた後に概念を見つける)
○グループにならないカードは1枚のままにしておくこと。(離れ猿・一匹狼)
○集まりに違和感が生じたら、再びグループ編成をすること。
- ③ **表札(タイトル)作り**：「離れ猿」は一つのグループとして可。
- ④ **空間配置**：グループ同士の関連を考え配置したり、図解化したりする。

参考文献：川喜田二郎著 『発想法～創造性開発のために～』 中公新書



【Q2】：グループ作業・協議における授業者及び助言者の対応は……

{A2}：2グループ以上の場合、**巡回**しながら、グループの求め(グループ司会の挙手等)に応じる。